



ボックススタイルカメラ想定活用シーン 屋内スポーツ中継

発行：2025年11月

コンパクトな筐体を活かし、緊張感やダイナミズム、そしてスポーツの持つ人間ドラマを幅広く表現。

演出・効果

コンパクトで設置性の良いボックススタイルカメラを使うことで、試合の流れや得点シーンを撮るだけではなく、緊張感やダイナミズム、そしてスポーツの持つ人間ドラマを幅広く表現できる。

ゴール上からの迫力あるスーパープレイ、得点後のガッツポーズや喜ぶ観客達など、ダイジェスト映像としても熱量のあるものが期待できる。

システム構成図



ボックススタイルカメラの
その他の想定活用例はこち
ら



ボックススタイルカメラの
製品情報はこち
ら



AW-UB50/UB10 + リモートカメラ



+



機器設置イメージ



※画像はイメージです。

AW-UB50 x 3

全景、ハーフコート俯瞰(ゴール側→反対ゴール)

AW-UB10 x 3

ベンチ雰囲気、ゴールシーン収録(両ゴール・バックボード上)

リモートカメラ x 4

ボール追尾撮影(目高設置)